

2021年10月21日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー


GOOD DESIGN AWARD 2021
**『東急コミュニティー技術研修センターNOTIA』が
グッドデザイン賞受賞**

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）の東京都目黒区上目黒に所在する自社研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA（以下NOTIA）」が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の2021年度グッドデザイン賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

■ 東急コミュニティー技術研修センターNOTIAとは

NOTIAは、2019年5月に開業しました。「建物そのものが研修素材」をコンセプトとして、施設内には管理の現場と同じ環境で、見て、触って、学ぶための、社員・建物利用者にむけて建物への「気づき」を促す仕掛けを施しています。また、当施設は建物管理会社としての、顧客提案に向けた実証実験の場でもあります。社会の環境への関心の高まりに対応していくべく、施設内の随所に最先端の省エネルギー技術を導入しており、2019年には国土交通省が主導する建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)において、都内事務所ビルとして初のNearly ZEBを取得しています。

■ 審査員評価コメント

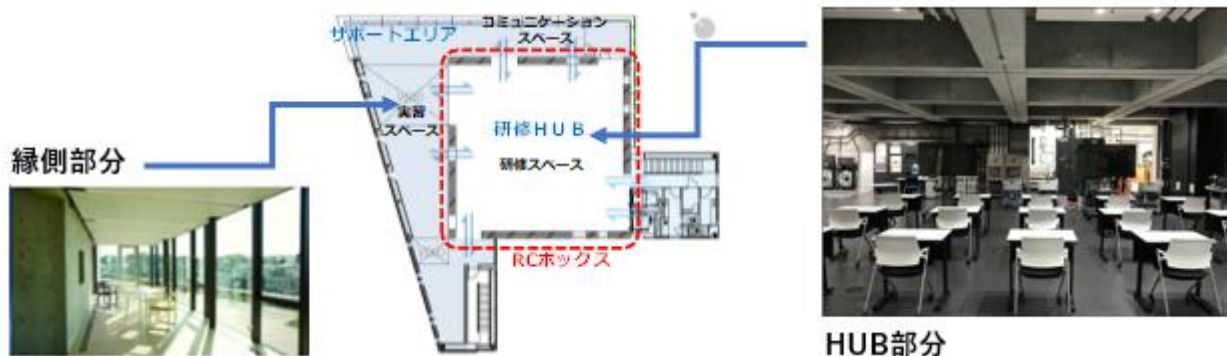
総合不動産管理会社の研修施設。変形敷地を利用して、敷地中心に「HUB」と名付けられたボックス状の基礎的な研修機能を果たす施設を配置し、その周囲に「縁側（サポート）」と呼ばれる「環境技術」や「コミュニティー」などの実験的な空間を纏わせる構成をとっている。

研修者は机上の理論学習のみではなく、「縁側」において体験的にコミュニティや環境技術に触れる機会を得ることができる点に特徴があり、教科書学習の様な知識の一方向の取得に留まらない、個々の「気づき」に基づいた生きた研修効果を上げることが意図されている。

企業という高いガバナンスが求められる組織は、その性質上、意図や目的が一意に定められた空間ばかりを生産し、その結果、都市景観から生き生きとした多様性が失われることになりがちだが、

本作品の様に意図や目的が定まらない空間を企業施設が纏うことは、社内の活力だけでなく、都市のそれを高めることにも寄与するだろう。

参考：NOTIA 施設配置イメージ



■ 東急コミュニティーについて

当社は総合不動産管理会社として、豊富な経験と実績をもとに、お客様の建物の資産価値向上に向けた提案を積極的に行ってまいりました。今後も全社的な省エネルギー推進、並びに NOTIA での省エネルギー施設運営を通じて、既存ビルのみならず先進的な建物への理解を深め、お客様の建物の資産価値向上に努めてまいります。



■ 東急コミュニティー技術研修センターNOTIA

所在地：東京都目黒区上目黒三丁目9番1号

建築面積：610 m²

設計・施工：清水建設株式会社

延床面積：2,440 m² (738 坪)

構造・規模：RC造S造併用構造 地下1階 地上5階

敷地面積：842 m² (254 坪)

■ 【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・小笠原）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。